

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
平成 30 年 6 月 27 日	
愛 知 県 知 事 殿	
提出者	
住 所 東京都港区西新橋三丁目7番1号 ランディック第2新橋ビル	
氏 名 株式会社ジャパンディスプレイ 東浦工場長 矢内 俊明	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 03 - 6732 - 8100	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名 称	(株)ジャパンディスプレイ 東浦工場
事業場の所在 地	愛知県知多郡東浦町大字緒川字上舟木 50 番地
計画期 間	平成30年4月1日～平成31年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種 類	28：電子部品・デバイス・電子回路製造業
②事業の規 模	100億円（前年度実績）
③従業員 数	502人

		(これまでに実施した取組) 別紙のとおり。		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		排出 量	t	t
		(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり。		
産業廃棄物の分別に関する事項				
	①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類：廃アルカリ、廃プラスチック類、ガラスくず、金属くず 取組：ルールを定め、分別を徹底している。		
	②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引き続き、現状の取組を継続する。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度（ 年度）実績】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
		(これまでに実施した取組) 別紙のとおり。		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（ 年度）実績】		

		産業廃棄物の種類	廃アルカリ（現像液）	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） 別紙のとおり。		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 別紙のとおり。		

（第４面）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t		t
	（これまでに実施した取組） 別紙のとおり。			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t		t

		(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	①現状	【前年度（ 年度）実績】		
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託 量	t	t
		優良認定処理業者への 処理委託 量	t	t
		再生利用業者への 処理委託 量	t	t
		認定熱回収業者への 処理委託 量	t	t
		認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託 量	t	t
		(これまでに実施した取組) 別紙のとおり。		

(第5面)

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託 量	t	t
		優良認定処理業者への処 理委託 量	t	t
		再生利用業者への 処理委託 量	t	t
		認定熱回収業者への 処理委託 量	t	t

		認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託 量	t	t
		(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり。		
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ① 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ② 欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④ 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙

産業廃棄物に関する事項

1 現状	【前年度（平成29年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ (現像液廃液)	廃アルカリ (剥離系廃液)	廃酸 (F系)	汚泥 (工程系汚泥)	廃プラスチック類 (廃プラ)
	排出量	5 1 2 1 t	2 1 t	2 2 t	6 2 5 8 t	3 6 t
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら熱回収を行った産業 廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理した量	5 1 2 1 t	0 t	0 t	6 2 5 8 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	5 1 2 1 t	0 t	0 t	5 9 4 5 t	0 t
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	全処理委託量	0 t	2 1 t	2 2 t	3 1 3 t	3 6 t
	優良認定処理業者へ の 処理委託量	0 t	2 1 t	2 2 t	1 9 5 t	2 4 t
	再生利用業者へ の 処理委託量	0 t	2 1 t	2 2 t	3 1 3 t	1 2 t
	認定熱回収業者へ の処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

			認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託 量	0 t	0 t	0 t	0 t	2 4 t
		(これまでに実施した取組) 排出の抑制に関する事項：剥離液の薬液交換周期延長による削減、再生利用に関する事項：廃アルカリ（現像液）の装置での繰り返し利用、自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項：汚泥の脱水、現像液の減量化・排水処理						

別紙

産業廃棄物に関する事項							
1 現状	【前年度（平成29年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	ガラスくず (液晶ガラス等)	ガラスくず (材料容器)	ガラスくず (蛍光灯)	木くず	金属くず (金属くず等)	金属くず (材料容器)
	排出量	4 7 t	1 0 t	0 . 3 t	1 t	0 t	1 2 t
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0	0
	自ら熱回収を行った産業 廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0	0
	自ら中間処理した量	0 t	0 t	0 t	0 t	0	0
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0	0
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0	0
	全処理委託 量	4 7 t	1 0 t	0 . 3 t	1 t	0 t	1 2 t

		優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	1 t	0	0
		再生利用業者への 処理委託量	47 t	0 t	0.3 t	1 t	0 t	0
		認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0	0
		認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	10 t	0 t	0 t	0	12 t

別紙

産業廃棄物に関する事項						
2 計画	【平成30年度計画】					
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ (現像液廃液)	廃アルカリ (剥離系廃液)	廃酸 (F系)	汚泥 (工程系汚泥)	廃プラスチック類 (廃プラ)
	排出量	0 t	31 t	30 t	401 t	45 t
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら熱回収を行った産業 廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理した量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		全処理委託 量	0 t	3 1 t	3 0 t	4 0 1 t	4 5 t
		優良認定処理業者へ の 処理委託 量	0 t	3 1 t	3 0 t	2 0 1 t	2 5 t
		再生利用業者へ の 処理委託 量	0 t	3 1 t	3 0 t	4 0 1 t	2 0 t
		認定熱回収業者へ の処理委託 量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託 量	0 t	0 t	0 t	0 t	2 5 t
		(今年度実施する取組) 引き続き、現状の取組を実施。 ※現像液廃液については、排水処理される廃液は対象外なので、今回計画より排出量を0とした。 ※汚泥については、一連のプロセスの中に脱水・乾燥工程が組み込まれているため、今回計画より排出量を脱水・乾燥後の質量に変更した。					

別紙

産業廃棄物に関する事項							
2 計画	【平成30 年度計画】						
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	ガラスくず	ガラスくず	木くず	金属くず	金属くず

		(液晶ガラス等)	(材料容器)	(蛍光灯)		(金属くず等)	(材料容器)
	排出量	50 t	15 t	1 t	2 t	1	20
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0	0
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0	0
	自ら中間処理した量	0 t	0 t	0 t	0 t	0	0
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0	0
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0	0
	全処理委託量	50 t	15 t	1 t	2 t	1	20
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	2 t	0	0
	再生利用業者への処理委託量	50 t	0 t	1 t	2 t	1	0
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	15 t	0 t	0 t	0	20